

# 2

## もっと知りたいあなたに 平成28年度予算を見てみよう

### 1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。お財布で言えば3種類のお財布があって、お金の出し入れをします。



1,383億  
9,000万円

#### 一番大きいお財布が「一般会計」です。

#### 一般会計

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を管理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金を出し入れするお財布です。  
平成28年度の当初予算の額は、1,383億9,000万円(※骨格予算)になっています。

#### 骨格予算とは…

骨格予算とは、義務的経費や、継続的に実施している事業の経費などを計上した予算のことです。

平成28年度当初予算は、市長選挙の年だったため、骨格予算として編成し、補正予算で施策の肉付けを行うこととしています。

なお、骨格予算ではありますが、少子超高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増加などにより、前年度予算額を上回る規模となっています。

838億  
7,122万円

#### 次のお財布は「特別会計」です。

#### 特別会計

お金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。

藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」など7つの特別会計があります。

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費 …… 22億5,881万円
- 柄沢特定土地区画整理事業費 …… 7億5,620万円
- 墓園事業費 …… 6億9,044万円
- 湘南台駐車場事業費 …… 9,575万円
- 国民健康保険事業費 …… 484億1,847万円
- 介護保険事業費 …… 264億9,572万円
- 後期高齢者医療事業費 …… 51億5,583万円

440億  
7,532万円

#### 最後のお財布が「公営企業会計」です。

#### 公営企業会計

普通会社と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。

藤沢市には下水道と病院の2つの公営企業会計があります。

- 下水道事業費 …… 225億2,894万円
- 市民病院事業 …… 215億4,638万円



全会計 **2,663億3,654万円**

## 2 市の歳入(1年間の収入)はどんな状況なの?



では、みなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成28年度の歳入がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入には、自主財源と依存財源があります。

**自主財源**  
932億5,057万円

みなさんに納めていただく市税やごみ処理手数料など、藤沢市が自主的に財源として集めることができる収入です。



市民のみなさん

藤沢市

**依存財源**  
451億3,943万円

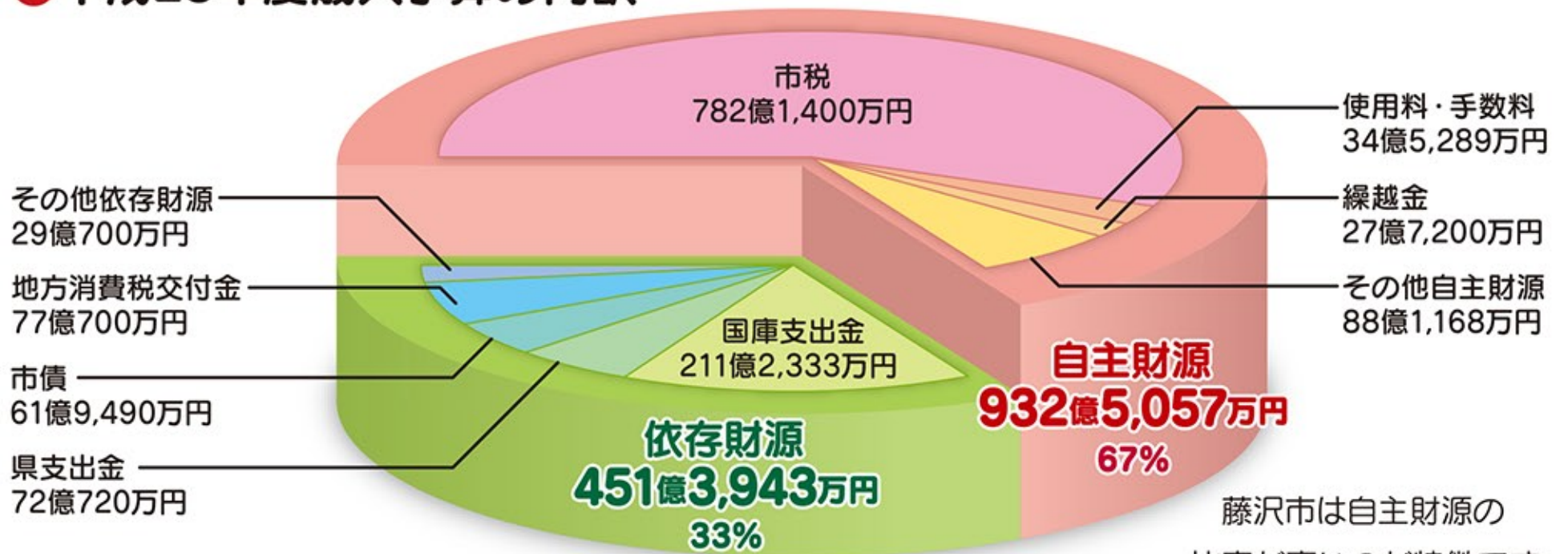
道路や施設をつくる時に国からもらう補助金や、借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。



国や県

藤沢市

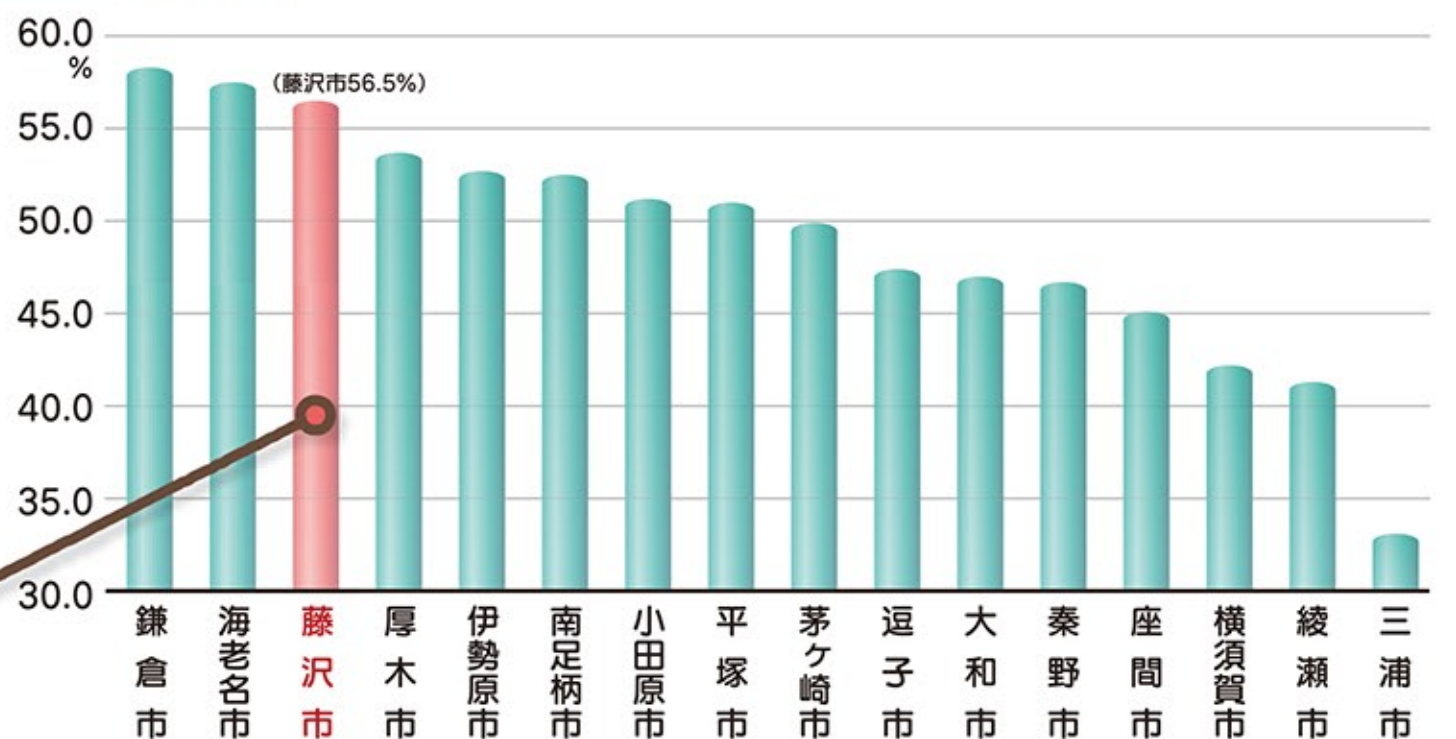
### ●平成28年度歳入予算の内訳



藤沢市は自主財源の比率が高いのが特徴です。

### ●歳入予算に占める市税の割合

藤沢市は  
県内16市中  
**第3位**です



(横浜市、川崎市、相模原市を除く16市)

## ● 予算規模の推移

■ 一般会計 ■ 特別会計・公営企業会計

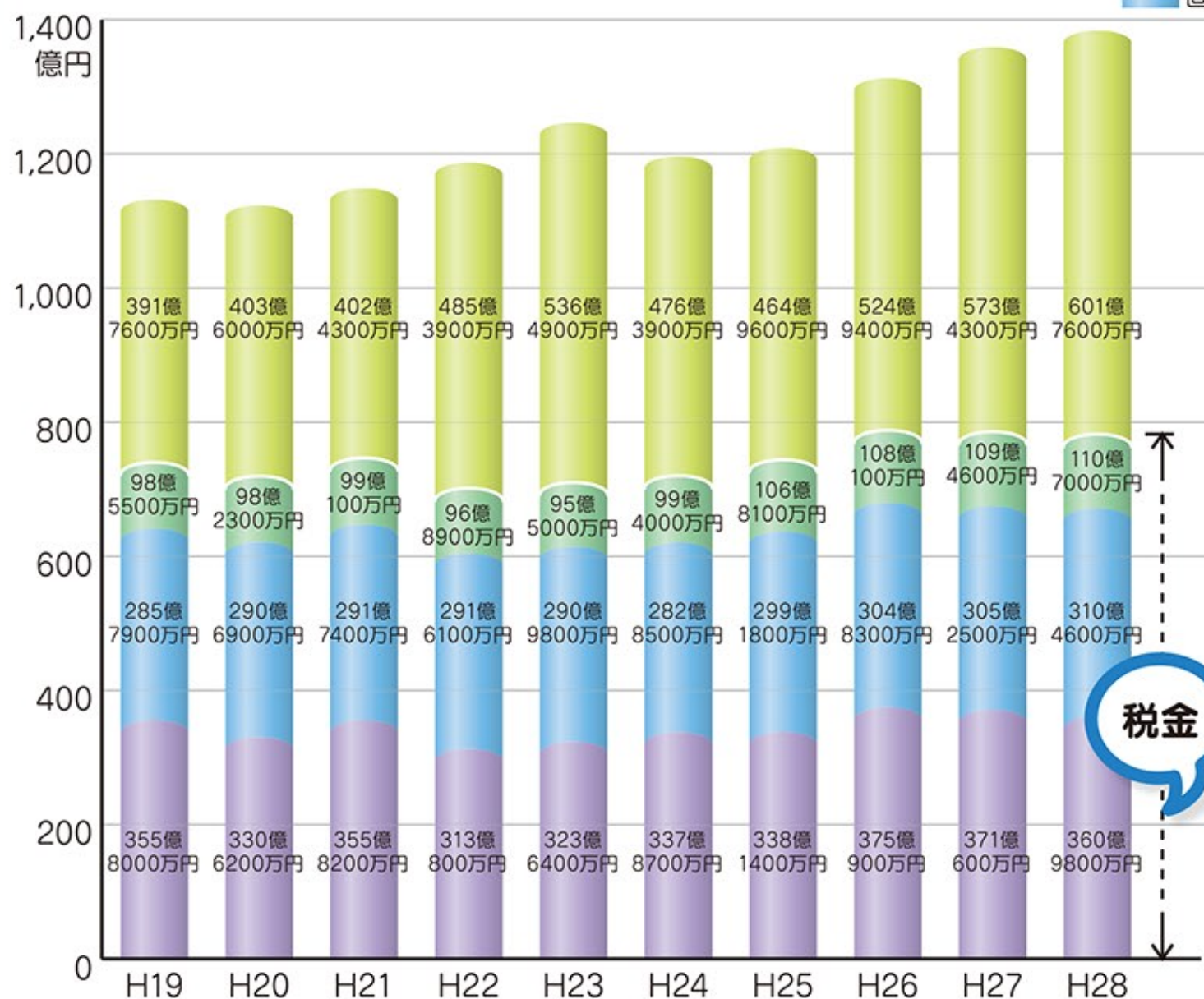


平成28年度の一般会計の当初予算は、生活保護費や児童保育委託費の増による扶助費の増などにより、前年度の当初予算に比べ増加しています。

特別会計・公営企業会計の当初予算は、介護保険事業における介護給付費や北部第二(三地区)土地区画整理事業費における工事費などが伸びているものの市民病院の施設整備費の減などにより前年度の当初予算に比べ減となっています。

## ● 一般会計歳入予算の内訳の推移

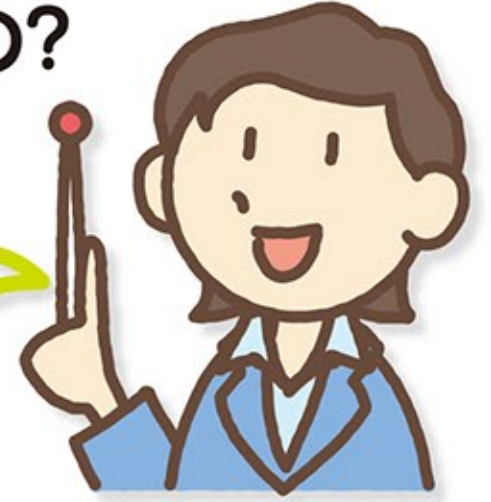
■ 市民税 ■ その他の市税  
■ 固定資産税 ■ 市税以外の収入



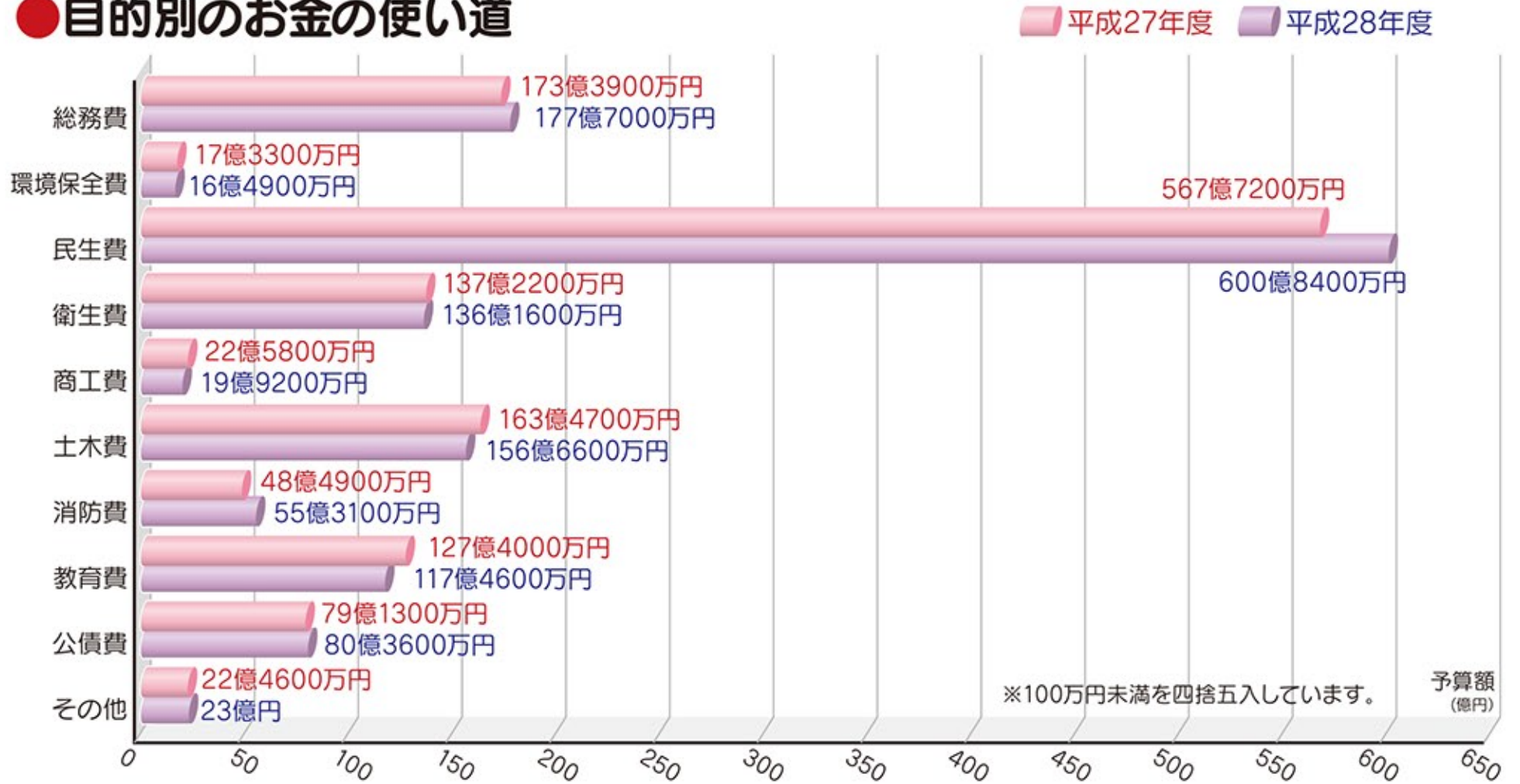
法人市民税の減などがあるものの、地方消費税交付金の増などにより、歳入全体としては前年度と同程度となっています。

### 3 市の歳出(1年間の支出)はどんな状況なの?

今度は歳出について見てみましょう。  
市では、道路や市民センターをつくったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を用意したり、そのほか子育てや福祉などさまざまな事業にお金を使っています。



#### ● 目的別のお金の使い道



<p><b>総務費</b> 市民センターや市民会館の運営、広報ふじさわの発行、税金の徴収や住民票の発行などに使われます。</p>	<p><b>環境保全費</b> 交通安全や防犯対策、また公害防止や緑地の保全などに使われます。</p>	<p><b>民生費</b> 保育園の運営、小児医療、高齢者や障がい者などの福祉に使われます。</p>	<p><b>衛生費</b> ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営などに使われます。</p>	<p><b>商工費</b> 商店街や中小企業を応援したり、観光施設の管理などに使われます。</p>
<p><b>土木費</b> 道路や橋を整備したり、公園をつくったり、市営住宅の管理などに使われます。</p>	<p><b>消防費</b> 消防車や救急車を管理したり、消防署の整備などに使われます。</p>	<p><b>教育費</b> 小・中学校の校舎や体育館、また公民館、図書館、スポーツ施設等の整備や運営に使われます。</p>	<p><b>公債費</b> 大きな施設や道路をつくる時に、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。</p>	<p><b>その他</b> 農業や水産業、働いている人や仕事を探している人を応援する事業などに使われます。</p>

消費税率引き上げによる増収分(地方消費税交付金)については、社会保障4経費(年金・医療・介護・子育て)およびその他社会保障施策に使われています。

## 4 家計簿に例えて見ると

家庭と市役所では、お金の使い道が違うので単純に比べられません  
が、例えば藤沢市の予算を年収500万円(月収41万円)の家計に置き換えてみると…



### 藤沢市の予算

こうなります。

収 入		支 出	
市 税	782億1,400万円	人件費	267億4,231万円
使用料、手数料など	150億3,657万円	扶助費	384億5,075万円
【自主財源合計】	932億5,057万円	物件費	248億5,235万円
国・県支出金など	389億4,453万円	投資的経費・維持補修費	132億4,483万円
市債の発行	61億9,490万円	公債費	80億2,897万円
【依存財源合計】	451億3,943万円	繰出金・補助費など	243億7,658万円
収入の合計	1,383億9,000万円	積立金・貸付金	26億9,421万円
		支出の合計	1,383億9,000万円

### 1カ月の家計簿に例えると…

こんな感じになります。

収 入		支 出	
お父さんの給料	23万2,000円	食 費	7万9,000円
お母さんのパート代	4万5,000円	医療費・保育料	11万4,000円
【給料等の合計】	27万7,000円	光熱水費や被服代	7万4,000円
その他臨時収入	11万5,000円	家の増築・修理、家財購入	3万9,000円
銀行からの借入	1万8,000円	住宅ローン返済	2万4,000円
【臨時収入の合計】	13万3,000円	子どもへの仕送り	7万2,000円
収入の合計	41万円	貯 金	8,000円
		支出の合計	41万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 664億8,621万円 家計簿に例えると 240万2,000円  
 預貯金の残高(基金残高) 192億3,452万円 家計簿に例えると 69万5,000円

※平成26年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で67.4%を占めています。年間の借金も多くはありませんね。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。

